

広域連携型プログラムへの対応について

令和 7 年 6 月 2 6 日
第 1 回府医療対策協議会 資料 1 - 1

経 緯

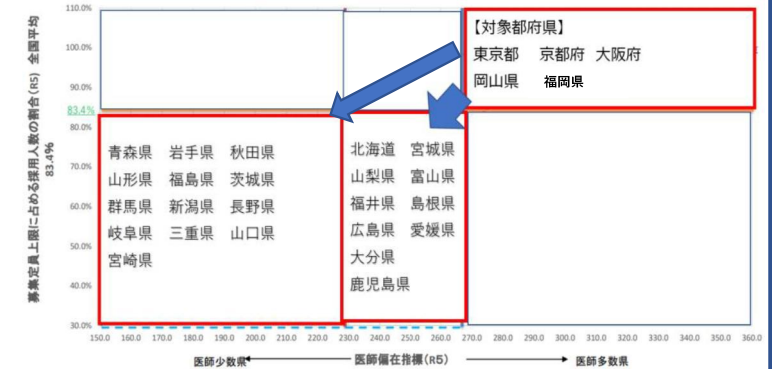
○国は、医師の偏在解消に向け、臨床研修（令和 8 年度研修開始分）における
広域連携型プログラム※の設置を制度化した。

※採用率が全国平均以上の医師多数県の定員の一部（募集定員の 5 % 程度）は、採用率が全国平均以下の「医師少数県」又は「医師中程度県の医師少数区域」の病院で半年間以上研修する制度

→大阪府定員枠（令和 8 年度）：32 枠

○府の対応（令和 6 年度）

- ・制度の見直し等を国に複数回要望→国はプログラム作成に係る経費補助を制度化したものの、制度の見直しは行われていない。
- ・定員配分の考え方を医療対策協議会で協議のうえ、32 病院に定員配分
- ・各病院は連携先病院と調整のうえ、プログラムを設置（次頁参照）



○府の対応（令和 7 年度）：プログラム設置病院に、採用活動状況等に関する調査を実施（令和 7 年 5 月）

< 主な調査結果 > 「資料 1 - 2 要望書別添」を参照

- ・回答率：100%（32 病院から回答）
- ・志願者の確保状況：志願者を確保できている病院はない
- ・志願者確保に向けた必要な支援：全国的な制度周知（医学生の大半が当該プログラムを知らないため）、経費的負担の軽減（住居移転に伴う費用が発生するため）

議 題

上記の調査結果を踏まえ、資料 1 - 2 のとおり、国に対し、広域連携型プログラムの採用者確保向けに、
国が主導的にプログラムの意義や魅力を全国の医学生等に対して情報発信すること等について要望することとしてはどうか。

○府による今後の取組み（広報支援）

- 民間事業者と連携し、全国の医学部 6 年生にプログラムの広報を実施予定
（加えて、府内の医学生への広報について大学に協力依頼）

（参考）今後の採用スケジュール

9 月 11 日：マッチング希望順位登録開始 → 9 月 26 日：マッチング中間発表 → 10 月 23 日：マッチング結果発表

令和８年度広域連携型プログラム設置病院（32病院）

	病院名	連携先病院	連携先の所在県
1	大阪大学医学部附属病院※	宮崎大学医学部附属病院	宮崎県
		徳之島徳洲会病院	鹿児島県
2	関西医科大学附属病院※	済生会新潟病院	新潟県
		長野市民病院	長野県
3	近畿大学病院	岡波総合病院	三重県
4	大阪急性期・総合医療センター	鹿児島県立大島病院	鹿児島県
5	大阪医療センター	信州上田医療センター	長野県
6	大阪警察病院	徳之島徳洲会病院	鹿児島県
7	淀川キリスト教病院	長野県立こども病院	長野県
8	北野病院	石巻赤十字病院	宮城県
		総合病院南東北病院	福島県
9	泉大津急性期メディカルセンター	雲南市立病院	島根県
10	大阪赤十字病院	石巻赤十字病院	宮城県
		宮崎大学医学部附属病院	宮崎県
11	済生会吹田病院	鈴鹿回生病院	三重県
12	大阪病院	宮崎江南病院	宮崎県
13	堺市立総合医療センター	徳山中央病院	山口県
14	関西医科大学総合医療センター※	伊勢赤十字病院	三重県
		総合南東北病院	福島県
15	千船病院	松阪市民病院	三重県
16	関西電力病院	公立丹南病院	福井県
17	岸和田徳洲会病院※	新潟県立がんセンター新潟病院	新潟県
		雲南市立病院	島根県

	病院名	連携先病院	連携先の所在県
18	箕面市立病院	釧路赤十字病院	北海道
		長野市民病院	長野県
19	多根総合病院	鈴鹿中央総合病院	三重県
20	済生会千里病院	済生会松阪総合病院	三重県
21	日本生命病院	松阪中央総合病院	三重県
22	済生会野江病院	鈴鹿中央総合病院	三重県
23	りんくう総合医療センター※	秋田大学医学部附属病院	秋田県
		三重県立総合医療センター	三重県
24	高槻赤十字病院※	石巻赤十字病院	宮城県
		伊那中央病院	長野県
25	野崎徳洲会病院※	日高徳洲会病院	北海道
		庄内余目病院	山形県
26	八尾徳洲会総合病院※	日高徳洲会病院	北海道
		三重県一志病院	三重県
27	北摂総合病院	松波総合病院	岐阜県
		松阪市民病院	三重県
28	松原徳洲会病院※	日高徳洲会病院	北海道
		庄内余目病院	山形県
29	済生会茨木病院	済生会山形済生病院	山形県
30	済生会富田林病院	大分県済生会日田病院	大分県
31	和泉市立総合医療センター※	福島県立医科大学附属病院	福島県
		庄内余目病院	山形県
32	育和会記念病院	岡波総合病院	三重県

※連携先病院が３病院以上あるため、主な連携先病院のみ記載